



給水給湯管の防火区画貫通部耐火措置工法部材

耐火テープ給水・給湯タイプ IRTW 施工手順書

国土交通大臣認定品、消防庁告示第4号適合品

1. 製品内容

耐火テープ給水・給湯タイプ (60幅×2M巻)	1巻
施工手順書(本書) (ALC、コンクリート用・中空壁用・片壁用・サブウェイ工法用)	1部

国土交通大臣認定書および(一財)日本消防設備安全センター評定書の仕様に基づき、正しく施工してください。正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。国土交通大臣認定書および(一財)日本消防設備安全センター評定書については、右記のQRコードを確認してください。

国土交通大臣認定書
(一財)日本消防設備安全センター評定



注意事項

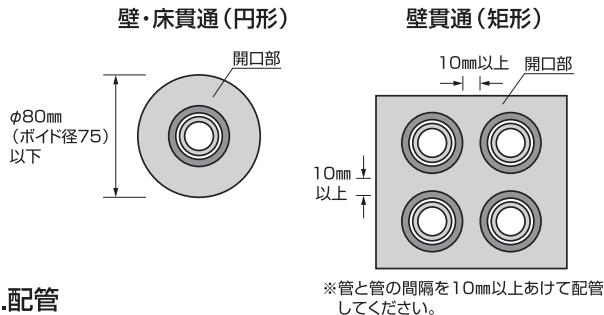
- ▼使用途中の耐火テープ給水・給湯タイプは品質維持のため、次回使用まで元の箱に戻して保管してください。
- ▼耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け位置は必ず守ってください。
- ▼モルタルの埋め戻しは丁寧にいき、十分に充てんしてください。
- ▼屋外で使用する場合は、紫外線、雨水等が当たらないように処置を施してください。
- ▼区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。不十分な場合は、耐火テープにズレが生じて耐火性能が発揮できません。

2. 標準施工方法

ALC、コンクリートの壁または床貫通の場合

1. 開口部の設置

- 配管サイズ・本数に応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。



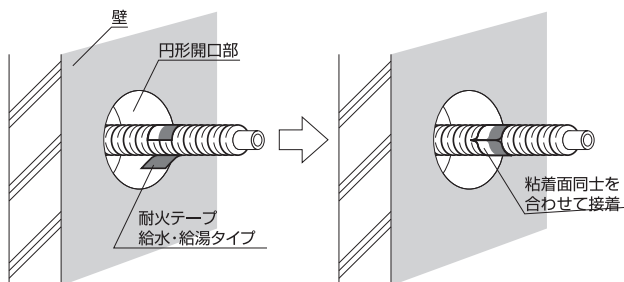
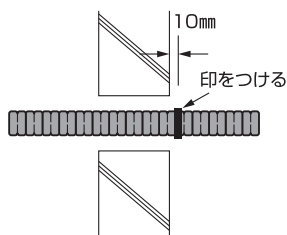
2. 配管

- 配管し、支持・固定します。

3. 耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け

- 壁面から10mmの位置に印をつけます。(この位置にテープを巻き付けます。)

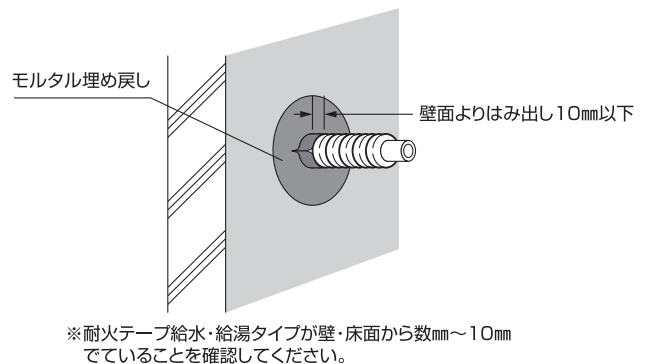
- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- テープを巻く為に管を50mm程度引き出し、埃・汚れを除去します。
- 青帯部分が施工後確認できるように、印部分にテープを巻き付けます。



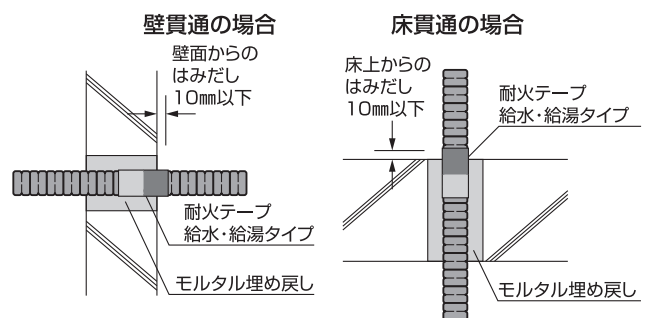
※テープの剥離脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

4. モルタルの埋め戻し

- 引出した管を元の位置に戻します。
- 開口部をモルタルで埋め戻します。



◎施工状態



3. 中空壁施工方法

中空壁の仕様

<一般の防火区画(令8区画・共住区画以外)を貫通する場合>

国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造(60分)及び耐火構造(60分以上)の中空壁

<共住区画(マンション等)を貫通する場合>

鋼製下地の両面に厚さ12.5mm以上の強化せっこうボードを重ね張りした中空壁

本製品を共住区画へご使用いただく場合の注意点

マンション等の共住区画を貫通する場合は、右記の3点について制約があります。
適用範囲をご確認の上、下記の標準施工方法に従って施工してください。

- 中空壁の仕様
- 配管の種類
- 配管の開口部の隙間の大きさ

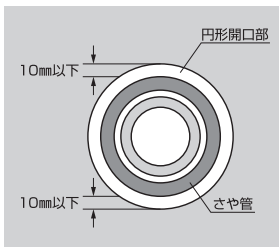
注意事項

使用途中の耐火テープ給水・給湯タイプは品質維持のため、次回使用まで元の箱に戻して保管してください。
耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け位置は必ずお守りください。
▼シーリング処理は丁寧に行ってください。
▼本仕様は厚100mm以上のALC、コンクリート壁にも適用できます。

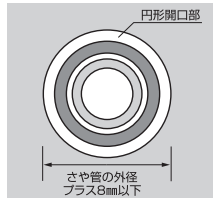
中空壁貫通の場合

1. 開口部の設置

- 配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。



共住区画貫通の場合
「さや管の外径プラス8mm以下」となるように、開口部を設けてください。



※開口径は管種により異なります。
P4～5の適用範囲表をご確認ください。

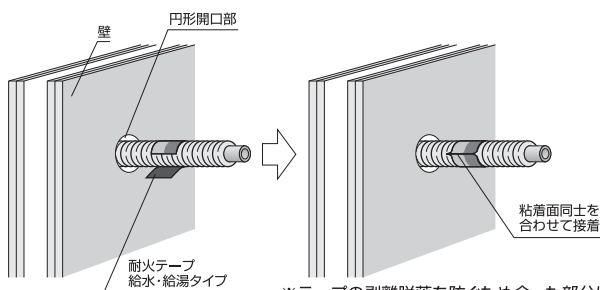
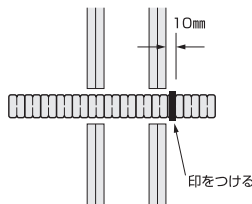
2. 配管

- 配管し、支持・固定します。

3. 耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け

- 壁面から10mmの位置に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)
- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- テープを巻くために管を50mm程度引き出し、埃・汚れを除去します。
- 青帯部分が施工後確認できるように、印部分にテープを巻き付けます。

※耐火テープ給水・給湯タイプは壁のどちら側にはみだしていてもかまいません。

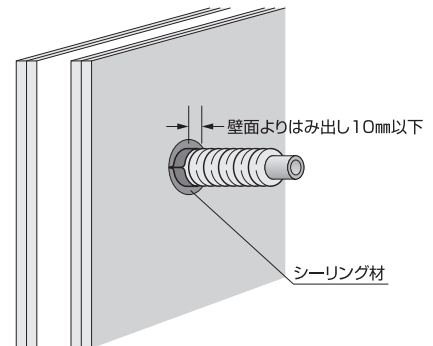


※テープの剥離脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

4. 開口部のシーリング処理

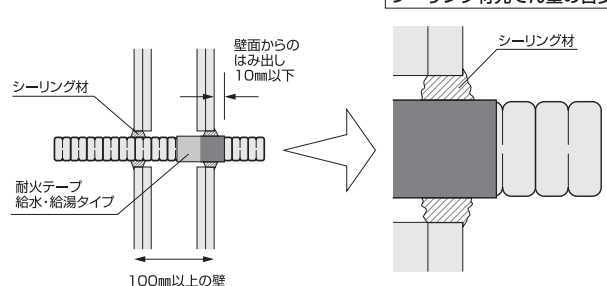
- 引き出した管を元の位置に戻します。
- 壁の両側の隙間部をシーリング材で充てんします(充填量40g/m以上)。

◎シーリング材は建築用シーリング材
(JIS A 5758 シリコン系)をご使用ください。



※耐火テープ給水・給湯タイプが壁面から数mm～10mm出ていることを確認してください。

◎施工状態



シーリング材充てん量の目安

※耐火テープ給水・給湯タイプは壁のどちら側にはみだしていてもかまいません。

片壁(Sウォール※)の仕様

<一般の防火区画(令8区画・共住区画以外)の貫通に限る>
厚さ42mm以上の片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁

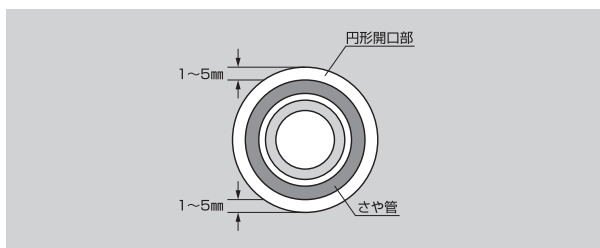
注意事項

使用途中の耐火テープ給水・給湯タイプは品質維持のため、次回使用まで元の箱に戻して保管してください。
耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け位置は必ずお守りください。
▼シーリング処理は丁寧に行ってください。

片壁貫通の場合

1. 開口部の設置

●配管サイズに応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。



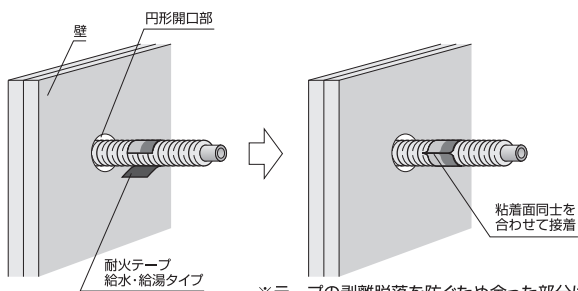
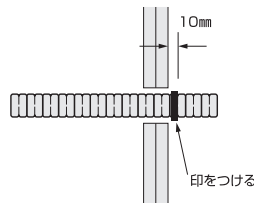
※開口径は管種により異なります。
P4~5の適用範囲表をご確認ください。

2. 配管

●配管し、支持・固定します。

3. 耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け

- 壁面から10mmの位置に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)
 - 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
 - テープを巻くために管を50mm程度引き出し、埃・汚れを除去します。
 - 青帯部分が施工後確認できるように、印部分にテープを巻き付けます。
- ※耐火テープ給水・給湯タイプは壁のどちら側にはみだしていてもかまいません。

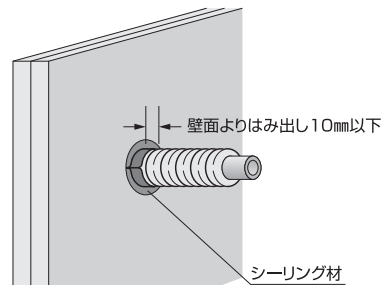


※テープの剥離脱落を防ぐため余った部分は粘着面同士を接合してください。

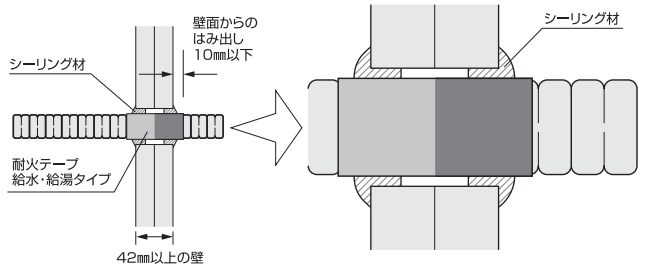
4. 開口部のシーリング処理

- 引き出した管を元の位置に戻します。
- 壁の両側の隙間部をシーリング材で充てんします(充填量40g/m以上)。

◎シーリング材は建築用シーリング材
(JIS A 5758 シリコン系)をご使用ください。



◎施工状態



シーリング材充てん量の目安

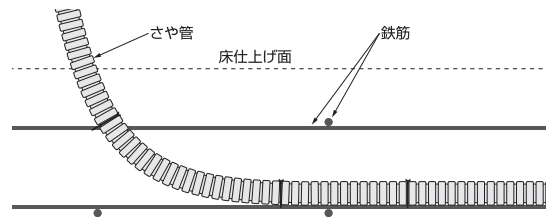
※耐火テープ給水・給湯タイプは壁のどちら側にはみだしていてもかまいません。

5. サブウェイ施工方法

サブウェイ工法の場合

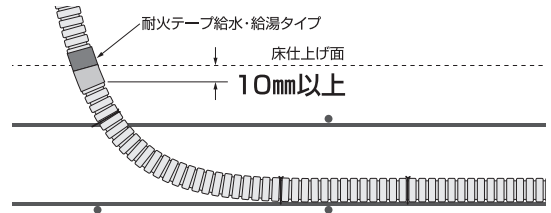
1. さや管の固定

- コンクリート打設時の位置ずれ防止のため、鉄筋等にさや管を確実に固定します。



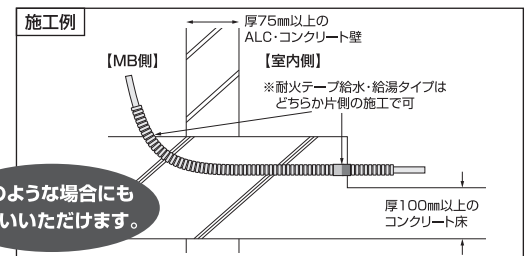
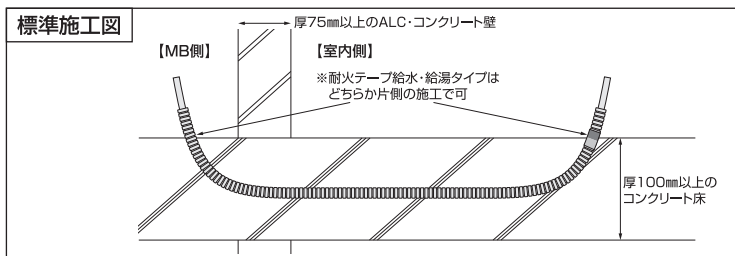
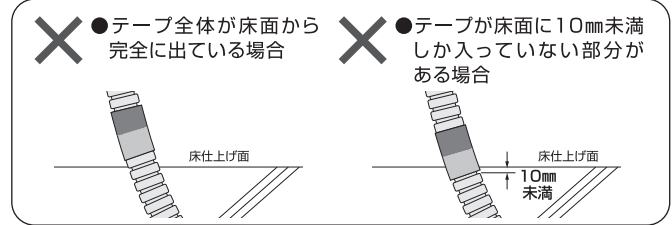
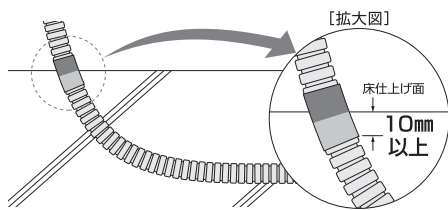
2. 耐火テープ給水・給湯タイプの巻き付け

- テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 青帯部分が施工後確認でき、全周が下図のように10mm以上埋まるようにテープを巻きつけます。
- ※耐火テープ給水・給湯タイプは1周以上隙間無く巻き付けてください。



3. コンクリートの打設

- 床仕上げ面からテープの赤帯部分が確認できるよう打設してください。



6. 適用範囲概要 (詳細は認定書・評定書をご確認ください)

適用範囲〈壁貫通の場合〉

開口部形状 ▶ 円形の場合

適用場所／厚75mm以上のALC・コンクリート壁

●用途／給水・給湯・排水管、冷温水管、さや管、ケーブル

貫通配管種		使用最大配管呼び径等	貫通開口寸法ポイド径	国土交通大臣認定番号	(財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
直管	保温付架橋ポリエチレン管(保温材厚10mm以下)	20A	75以下 (φ80mm以下)	PS060WL-0680	KK19-023号
	保温付ポリブテン管(保温材厚10mm以下)				KK19-025号
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管2本+ケーブル*	13A	75以下 (φ80mm以下)		KK19-023号

※ケーブルはφ7mm(0.3mm²×3芯)以下

開口部形状 ▶ 矩形的場合

適用場所／厚100mm以上のALC・コンクリート壁

●用途／給水・給湯・排水管、冷温水管、さや管、ケーブル

貫通配管種		使用最大配管呼び径等	貫通開口寸法面積	国土交通大臣認定番号	(財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
直管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	25A	0.07㎡以下	PS060WL-0680	KK19-019号
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	30A			
	硬質塩化ビニル管(JIS K 6741, 6742)				
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管(2本)+ケーブル*(1本)	13A	20A	PS060WL-0680	KK19-019号
	架橋ポリエチレン管(1本)+ケーブル*(1本)				
さや管 挿入管	ポリブテン管(1本)+ケーブル*(1本)	20A			

※ケーブルはφ6mm(0.3mm²×3芯)以下

適用範囲〈床貫通の場合〉

開口部形状 ▶ 円形の場合

適用場所／厚150mm以上のコンクリート床

●用途／給水・給湯・排水管、冷温水管、さや管、ケーブル

貫通配管種		使用最大配管呼び径等	最大開口寸法ポイド径	国土交通大臣認定番号	(財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画			
直管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	25A	75以下 (φ80mm以下)	PS060FL-0681	KK19-018号 KK19-018号			
	ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	30A						
	ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792)							
	ケーブル (JIS C 3401, 3342, 3605)	φ28mm						
	金属強化架橋ポリエチレン管 (エスロメタックス)	25A						
	被覆銅管 (JIS H 3300)	φ22.22 (被覆厚5mm)						
被覆付架橋ポリエチレン管 (エスロベックスCV)	20A							
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	25A						
	ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)							
	ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792)							
	被覆ステンレスフレキ管							
	金属強化架橋ポリエチレン管 (エスロメタックス)							
	被覆銅管 (JIS H 3300)		φ22.22 (被覆厚5mm)					
ケーブル (JIS C 3401, 3342, 3605)	φ28mm							

開口部形状 ▶ 円形の場合

適用場所／厚100mm以上のALC・コンクリート床

●用途／給水・給湯・排水管、冷温水管、さや管

貫通配管種		使用最大配管呼び径	最大開口寸法ポイド径	国土交通大臣認定番号	(財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
直管	被覆付架橋ポリエチレン管 (エスロベックスCV)	20A	75以下 (φ80mm以下)	PS060FL-0681	KK19-018号 KK19-024号 KK19-018号
	保温付ポリブテン管 (保温材厚10mm以下)				
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	25A			

適用範囲〈中空壁の場合〉

開口部形状 ▶ 円形の場合

適用場所／厚100mm以上の国土交通大臣が指定もしくは認定した準耐火構造 (60分) および耐火構造 (60分以上) の中空壁

●用途／給水・給湯・排水管、冷温水管、さや管、ケーブル

貫通配管種		使用最大配管呼び径	貫通開口寸法外径	国土交通大臣認定番号	(財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画		
直管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	25A	φ40mm以下	PS060WL-0679	KK19-022号		
	被覆付架橋ポリエチレン管 (エスロベックスCV)	20A					
	金属強化ポリエチレン管 (アルミ複合三層管など)	25A	φ50mm以下				
	ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792)	30A					
	硬質塩化ビニル管 (VP管) (JIS K 6741, 6742)	30A					
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	25A	φ50mm以下				
	ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792)	25A					
	架橋ポリエチレン管 (2本) + ケーブル* (1本)	13A (2本)					

※ケーブルはφ6mm (0.3mm²×3芯) 以下

適用範囲〈片壁(Sウォール*)貫通の場合〉

開口部形状 ▶ 円形の場合

適用場所／厚42mm以上の片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁

●用途／給水・給湯、冷温水管、さや管、ケーブル

貫通配管種		使用最大配管呼び径	貫通開口寸法外径	国土交通大臣認定番号
直管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	20A	管の外径プラス10mm以下	PS060WL-0633
	被覆付架橋ポリエチレン管 (エスロベックスCV)	20A		
	ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792)	30A		
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787)	20A		
	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787) 2本 + ケーブル* ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792)	13A (2本) 25A		

※ケーブルはφ7.6mm (0.75mm²×4芯) 以下

*「Sウォール」は吉野石膏株式会社の商標です。

適用範囲〈サブウェイ工法の場合〉

適用場所／厚75mm以上のALC・コンクリート壁、厚100mm以上のコンクリート床

●用途／給水・給湯、冷温水管、さや管、ケーブル

貫通配管種		使用最大配管呼び径等	(財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787) 1本+ケーブル*	20A	KK19-020号
	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, 6787) 2本+ケーブル*	13A (2本)	
	ポリブテン管 (JIS K 6778, 6792) + ケーブル*	20A	
	金属強化ポリエチレン管 (アルミ複合三層管など) + ケーブル*	20A	

※ケーブルはφ6mm (0.3mm²×3芯) 以下

消防評価一括マーク 請求カード

因幡電機産業株式会社 因幡電工カンパニー

営業所 行

FAX() -

(注)消防評価一括マークは、特定共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。

特定共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)口項に規定されている「寄宿舍、下宿又は共同住宅」に適用されています。

■『消防評価一括マーク』について

耐火テープ給水・給湯タイプを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評価)されています。特定共同住宅等の壁・床(特定共住区画)でのご使用の際は、必ず性能評価品である旨の表示(評価一括マークまたは評価証票)が必要になります。こちらの請求カードに必要な枚数等をご記入の上、弊社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評価一括マーク」をお送りいたします。

IRTW 耐火テープ給水・給湯タイプ

- ※ 上記枠内に下記の最寄の営業所名をご記入の上、FAXにてお送りください。
- ※ 楷書体でご記入ください。
- ※ 現場単位でまとめて1枚の消防評価一括マーク請求カードでお送りください。
- ※ 空欄をすべてご記入ください。

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
IRTWご購入店	TEL() -

▼ ご請求枚数

消防(特定共住区画)評価一括マークご請求枚数	KK	枚
	KK	枚
	KK	枚

(注)評価一括マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚貼付してください。

▼ 施工のご確認

取扱説明書に基づき施工完了された事をご確認の上でご署名およびご捺印してください。



印

▼ 送付先

貴社名	
所属部署	ご担当者名
ご住所	〒
TEL	() -

※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

因幡電工カンパニー

因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください

<http://www.INABA-DENKO.com/> (最新情報や技術資料など)

<http://www.INABA-DENKO.com/ja/network> (営業窓口)

札幌営業所 ☎(011)209-1784代 FAX(011)209-1789 / 横浜営業所 ☎(045)470-1780代 FAX(045)470-1798 / 広島営業所 ☎(082)545-1132代 FAX(082)545-1134 / 広域2課(東京) ☎(03)5783-1722代 FAX(03)3474-1716
仙台営業所 ☎(022)293-1785代 FAX(022)293-1802 / 名古屋営業所 ☎(052)541-1780代 FAX(052)541-1791 / 九州1課 ☎(092)283-1751代 FAX(092)262-1787 / 東京推進課 ☎(03)5783-1721代 FAX(03)3474-1715
関東営業所 ☎(048)642-1783代 FAX(048)642-1756 / 金沢営業所 ☎(076)262-1783代 FAX(076)262-1787 / 九州2課 ☎(092)283-1785代 FAX(092)262-1787 / 大阪推進課 ☎(06)4391-1941代 FAX(06)4391-1905
首都圏1課 ☎(03)5783-1723代 FAX(03)3474-1718 / 近畿1課 ☎(06)4391-1940代 FAX(06)7664-9103 / 広域1課(大阪) ☎(06)4391-1713代 FAX(06)7664-9105
首都圏2課 ☎(03)5783-1724代 FAX(03)3474-1719 / 近畿2課 ☎(06)4391-1732代 FAX(06)7664-9104

※商品に関するお問い合わせは、お近くの営業所へ、お気軽にどうぞ。